

令和元年（2019年）度（10月～） 出前講座メニュー							
通し番号は、生涯学習課が発行している「生涯学習出前講座（令和元年度版）」に合わせています							
番号	メニュー名	サブタイトル	内容	担当部署	担当者	都合の悪い曜日など	備考
55	知っておきたい薬の知識 (ジェネリック医薬品Q & A)	間違っていないか その使い方 飲み方	お薬の正しい使い方、飲み方について“これだけは注意して下さい”というお話をします。またジェネリック医薬品についてのQ & Aも併せて説明します。	薬剤部	檜葉利人 薬剤長	午後1時半以前	
56	今さら聞けないお薬の効き方・副作用	当院での 相談事例 Q & A を中心に	・お薬の飲み上手、そして健康上手になりませんか ・当院に寄せられた相談事例を元に、Q & A 形式で説明します	薬剤部	檜葉利人 薬剤長	午後1時半以前	
57	「かかりつけ医」を持ちましょう	病院の上手な使いかた、つきあいかた	病院とかかりつけ医の役割分担についてお話します。必要な時に必要な医療をうまく利用する方法を一緒に考えましょう。	副院長（患者支援センター）	尾上雅彦 副院長	月・水・金の午後は可能。土は要相談	
58	予防医学について	～臨床検査で健康チェックをしよう～	今日、生活習慣病が増加している中、これらの予防、抑制をする意味で、市民の方々に定期的に臨床検査を受けていただき、自分自身の健康度を知っていただくことが大切です。	中央検査部	六尾 哲 技師長		
59	禁煙のすすめ			呼吸器科	医師	月、火、第1・3・5水、木、金	
60	排便時に出血したら？		排便時に出血するのは痔だけではなくありません。どのような病気が排便時に出血を引き起こすのかを、専門医が解説します。	外科	鍛 利幸 部長	月	
61	肝障害のはなし			消化器内科	医師		
62	画像診断のはなし	病気はどのように見えるのか	科学技術やコンピュータの発達により、画像診断装置は飛躍的に進歩し、現代医療に欠かせないものとなりました。市民病院にも、C T ・ M R I ・ P E T - C T などの最先端機種が導入されています。人の身体や病気がどのように見えるのか、専門医がわかりやすく説明します。	放射線科	藤澤一朗 副院長	木	
63	病理診断のはなし	～癌（がん）と確定するまで～		病理診断科	飯塚徳重 部長	月	
64	耳鼻咽喉科の癌って		耳鼻咽喉科とくればアレルギー性鼻炎や中耳炎などを思い浮かべる方が多いと思います。耳鼻咽喉科医が治療する癌とはどういうものかお話をします。	耳鼻咽喉科	梶川 泰 部長	月・金	
65	肺癌について	～肺癌の診断と治療～	肺癌に対する最新の診断学と治療法に関して専門医が解説します。	呼吸器外科	松本和也 部長	月・水・金の全日、火の午前	
66	乳癌について	～乳癌なんかこわくない～	乳がんは女性にもっとも多いがんであり、日本人女性の16 人に1 人がかかるといわれています。でも乳がんは早期発見できれば確実に死亡率を減らせる病気であり、手術で乳房を失うこともありません。最新の乳がん治療の現状と乳がん検診の	乳腺外科	吉村吾郎 部長	木のみ可	
67	子宮頸がんについて	予防で出来るがんの話	若年者に急増中の子宮頸がんは、予防出来るがんです。子宮頸がんになるまでの自然史を理解して子宮頸がんを予防しましょう。	産婦人科	出口昌昭 副院長	月、火、金	

令和元年（2019年）度（10月～） 出前講座メニュー							
通し番号は、生涯学習課が発行している「生涯学習出前講座（令和元年度版）」に合わせています							
番号	メニュー名	サブタイトル	内容	担当部署	担当者	都合の悪い曜日など	備考
68	癌の再発と向きあう		がんは一定の確率で再発します。がんの再発をどう考え、どのように治療していくかを大腸がんを例に消化器外科医が解説します。	外科	鍛 利幸 部長	月	
69	癌治療最前線	～癌についてもっとよく知ろう～	日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人が亡くなります。がん治療の現状と問題点をがん治療に携わる専門医が分かりやすく説明します。	外科	鍛 利幸 部長	月	
70	がん相談支援について	相談支援センターをご活用下さい	がんと診断された時から、生活には様々な変化が起こります。がんになっても自分らしく生活していくための支援者として、がん相談員が居ます。がんにつながるお困り事とその支援、がん相談支援センターについてお話しします。	医療福祉相談部	咲花 彩		
71	がんターミナル期の在宅療法について	最期の時をおうちで過ごすということ	がんターミナル期の患者さんの在宅療養ってどんな感じ？どんな人達が家での暮らしを支えてくれるの？大切な一日一日を住み慣れたおうちで過ごす、在宅療養についてお話しします。	医療福祉相談部	咲花 彩		
72	最新がん放射線治療		がんを切らずに治し、からだにやさしく、その人らしく過ごすための、最新技術による放射線治療を紹介します。	放射線治療科	小倉昌和 部長	月、火、木	
73	がん疼痛治療と医療用麻薬	がんの痛みに使われる薬剤はどんなものがあるの？	がんの痛みと医療用麻薬の作用・副作用、医療用麻薬に対する誤解について、わかりやすくお話しします。	薬剤部	泉本 裕美	午後1時半以前	
74	緩和ケアってなに？	がんと上手に付き合うために	「緩和ケア」はがん治療が難しくなってから始まるものではありません。がんと診断されたときから始まるもので、心のつらさやからだのつらさを和らげるものです。「緩和ケア」の暗いイメージを少しでも減らせるように説明します。	緩和ケア内科	川島正裕 部長		
75	緩和ケア病棟をご存知ですか		緩和ケア病棟全般についての説明 ・どのような患者さんが入院するのか ・何をするのか ・費用 ・退院はできるのか等を解説。	緩和ケア内科	川島正裕 部長		
76	小児の気管支喘息について		小児の気管支喘息について、症状、検査方法、診断、治療、対処方法などについて説明します。	小児科	芥川 宏 部長	火の午後以外（ただし、第1火曜は不可）	
77	小児の食物アレルギーについて		小児の食物アレルギーについて、検査の方法、診断、対処方法などについて説明します。	小児科	芥川 宏 部長	火の午後以外（ただし、第1火曜は不可）	
78	小児の予防接種について		ここ数年、新しくはじまった予防接種の種類や、接種の目的、予防接種の受け方などについて説明します。	小児科	芥川 宏 部長	火の午後以外（ただし、第1火曜は不可）	

令和元年（2019年）度（10月～） 出前講座メニュー							
通し番号は、生涯学習課が発行している「生涯学習出前講座（令和元年度版）」に合わせています							
番号	メニュー名	サブタイトル	内容	担当部署	担当者	都合の悪い曜日など	備考
79	小児の創処置について	少しでもキズアトを目立たせないように	切りキズや擦りキズ、虫刺されややけどなど、日常でよく見かける外傷があります。少しでもキズアトを残さないようにするにはどのようなことに注意をすればよいのでしょうか。形成外科医がお話します。	形成外科	竹本剛司 部長	火の午前月・水	
80	小児の感染症について		毎年流行する小児の感染症について、症状、診断、治療、注意点などについて説明します。	小児科	芥川 宏 部長	火の午後以外（ただし、第1火曜は不可）	
81	心筋梗塞で死なないために		心筋梗塞は突然おこる命にかかわる病気です。心筋梗塞でなくなるために、一般の市民のかたに知っておいてほしいことがあります。一緒に勉強しませんか。	循環器内科	松田光雄 副院長	月、水、木	
82	あざの話	あざはどこまで消えるの？	生まれつき、赤アザ、青アザ、茶アザなどを持っている赤ちゃんがいます。ほっておいても消えるアザもあれば、消えないアザもあります。また治療すれば消えるアザもあります。各種のアザについてわかりやすく説明します。	形成外科	竹本剛司 部長	火の午前月・水	
83	インフルエンザ対策	インフルエンザ対策	インフルエンザの症状、感染経路、感染対策について	感染管理認定看護師	林 真樹	水・木	変更
84	感染性胃腸炎（ノロウイルス含む）		ノロウイルスについての説明。 嘔物・排泄物の取り扱いについての説明。 嘔物・排泄物の取り扱いの実際。	感染管理認定看護師	森野 幸代	火・金	変更
85	生活習慣病の予防	「これならできる」健康管理	生活習慣病の疾病の成り立ちについての説明。 日常生活を見直し、行動変容が促されるような健康管理について説明。 日常生活の中で、「これならやってみようか」というような自己管理方法を提案します。	慢性疾患看護専門看護師	有井 千恵	第2火・木の午後、第4火の午後、第1・3水	変更
86	生活習慣病	知って得する生活習慣病	生活習慣病について理解し、ご自身の身体状況を把握する方法、また生活習慣病を予防する方法についての内容を講義します。	看護師長	山田 初美		
87	熱中症	～ご存知ですか？ 予防対処法～	熱中症の症状や予防と対処方法。 日常生活での工夫や医療機関の受診方法。	救急看護認定看護師	紺原 由美子 山上 富子		
88	災害への備え	～南海トラフ巨大地震に備えよう～	災害発生から生き延びるための食糧備蓄や必要物品について。 災害時の市民病院の診療体制と受診方法について。	救急看護認定看護師	紺原 由美子 山上 富子		
89	心肺蘇生法	～あなたにも救える命があります～	市民のための心肺蘇生法 AEDの使用方法	救急看護認定看護師	紺原 由美子 山上 富子		

令和元年（2019年）度（10月～） 出前講座メニュー							
通し番号は、生涯学習課が発行している「生涯学習出前講座（令和元年度版）」に合わせています							
番号	メニュー名	サブタイトル	内容	担当部署	担当者	都合の悪い曜日など	備考
90	口腔ケアは大切！	口は身体の入口です。入口が不潔では身体に悪影響が！	口の中を清潔に管理することが口腔ケアです。口腔ケアが十分でないと身体に色々な問題が出てことがあります。それらについてお話しします。	歯科口腔外科	島 盛隆 部長 紙谷 仁之Dr.	金以外	
91	卵子の話	出産現場から見た産みドキの話	日本人の平均初産年齢は30.3歳になりました。4人に1人は35歳以上の出産です。女性の産みドキは何歳と思われますか。	産婦人科	出口昌昭 副院長	月、火、金	
92	身体にやさしい食事のはなし	腸から始める健康生活	①便秘予防の食事 ②免疫力アップの食事 ①、②どちらかを中心に食生活のポイントをお話しします。	栄養管理部	管理栄養士	火・水・木	
93	転倒予防について	どのような人や環境が転びやすいか	高齢化社会の加速で加齢に伴う運動機能の低下や住環境事情など、転倒に対する意識が高まっています。今のご自身の身体の状態を知って頂き転倒に対する対策として環境整備指導や運動指導を行います。	リハビリテーション部	佐嶋義高 技士長 村井謙蔵 主任	午前中、月・火・金は午後も不可	
94	高齢者に多い骨折について	骨粗鬆症性骨折 いつのまにか骨折	高齢者は転倒すると骨折を起こしやすいのですが、転倒しなくてもいつのまにか骨折を起こしていることがあります。その原因、予防、治療法について説明します。	整形外科	松村文典 部長	月・木	
95	上手に使おう 介護保険と在宅ケア	安心して入院・退院をするために	入退院時に起こりやすい生活問題への対応策と当院で取り組んでいる入退院支援の内容紹介も含めてお伝えします。	医療福祉相談部	澤近 敦子		
96	前立腺について	前立腺って何	前立腺肥大症および前立腺癌のそれぞれの症状および検査・診断方法に始まり、最近の治療法について泌尿器科専門医が解説します。	泌尿器科	医師	月・水・金	
97	自分で治せる腰痛、肩こり、膝の痛み	長年、お困りの方、すでに手術をうけられた方もアドバイスします。	元整形外科教授がすすめる腰痛、肩こり、膝の痛みに対するエクササイズ治療法。	リハビリテーション科	濱西 千秋Dr.	応相談	
98	腰痛について	腰はどうして痛くなるの？	ほとんどの人が腰痛を感じたことがあると思います。腰痛は腰だけでなく下肢の痛みも伴うことがあります。腰痛と腰痛に伴う下肢痛の原因と治療法について説明します。	整形外科	松村文典 部長	月・木	
99	人工関節置換術について	関節の痛みをよくする方法	変形性関節症や関節リウマチで関節の変形や痛みのために日常生活に困っている人に行う手術です。様々な関節に行い、手術の内容、術後のリハビリや注意点等を説明します。	整形外科	松下哲尚Dr.	月・火	
100	昔の常識は今の非常識！ 現在の心臓リハビリ運動療法	軽すぎても強すぎてもダメ！ 心臓や血管にとって調度良い運動をしよう。	首の心臓病の治療は「絶対安静、運動は厄災」と言われていました。しかし、現在では調度良い運動をすることで生存率向上や再入院率を低下することが明らかになっています。心臓リハビリテーションとは運動以外にも服薬や食生活の改善などを含めた総合的な心疾患の治療のことです。本講座では当院で行っている運動療法についてお話しします。	リハビリテーション部	久保 侑平	火、金と月、水、木の午前	

令和元年（2019年）度（10月～） 出前講座メニュー							
通し番号は、生涯学習課が発行している「生涯学習出前講座（令和元年度版）」に合わせています							
番号	メニュー名	サブタイトル	内容	担当部署	担当者	都合の悪い曜日など	備考
101	C O P D（慢性閉塞性肺疾患）って何？		高齢に伴い問題となるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の概念と治療の必要性について、呼吸器内科医がわかりやすく解説します。	呼吸器内科	医師	月、水、木、金	
102	健康は歯から	お口をきれいにするといいことが・・・	口腔ケアと全身疾患とのかかわりについて、ケアの方法も交えてお話します。	口腔ケア認定 歯科衛生士	廣谷 孝子	水・金の午後（相談させていただきます）	変更
103	高齢者のスキンケアについて	高齢者の皮膚を守るために	年齢を重ねると若い頃に比べて皮膚はデリケートになってきます。高齢者の皮膚の特徴と起こりやすい皮膚のトラブル、予防方法についてお話します。	皮膚・排泄ケア 認定看護師	佐藤 美香	月・木・金の全日 火の15時以降	
104	医療安全について知る	あなたが「からだの責任者」	患者さんも医療チームの一員です。患者さんと医療者が情報と責任を共有して「一緒に治療に取り組む」ことをパートナーシップといいます。安全な医療を受けてもらうためにご協力をお願いしたいことをお話します。	医療安全管理者等			
105	放射線の性質と健康への影響	レントゲンの性格を知ろう	放射線の種類と影響について、具体的に解説します。	中央放射線部	神田栄光 技師長		
106	超音波（エコー）検査とは	～どんなふうに見えますか？どんなことがわかりますか？～	超音波（エコー）検査は色々な診療科で用いられている検査です。超音波（エコー）検査とは？からどういう感じに見えるのか？どんなことがわかるのか？をわかりやすくお話させていただきます。	中央検査部	六尾 哲 技師長		
107	全身麻酔のはなし	麻酔科医に麻酔に関する質問をしてみませんか。	インターネットで何でも調べられる時代ですが、麻酔科医に直接質問できる機会はほぼありません。麻酔に関する説明のあとに自由にお話しできればと思っています。	麻酔科	谷本圭司 部長	水・金の午後	
108	血液疾患の鑑別が必要な病的症候		日常診療で遭遇する症候や症状の中で血液疾患との鑑別が重要となる所見を血液疾患の具体例をあげながら講演いたします。	血液内科	芹澤憲太郎 部長	月・水の午後 木の午前	
109	白内障について		白内障の症状、手術のする時期、必要性等を説明します。	眼科	額田和之 部長	火・水・木	
110	手術のおはなし	手術の実際と最近の体にやさしい手術	多くの人は受けたことがないけど、もし必要になった時、知っておいたほうがよい、手術の実際について。特に腹腔鏡手術がどんな手術かとお話しします。	外科	鍛 利幸 部長	月	
111	糖尿病と運動のおはなし	聞けば差がつく！やってみよう気軽にエクササイズ	運動は血糖値を下げる効果があることは知られていますが、実際どのようにして良いのか分らない方も多いと思います。運動について優しい説明を受けながら楽しく体を動かし、良好な血糖コントロールを一緒に目指しませんか。	リハビリテーション部	佐嶋 義高 技士長 菅原 弘樹	火・金	
112	薬物依存について	不正薬物と医療用麻薬・向精神薬の違い	お酒やタバコの依存性、危険。（脱法）ドラッグ、薬物依存性の症状・治療について、わかりやすくお話しします。	薬剤部	泉本 裕美	午後1時半以前	

令和元年（2019年）度（10月～） 出前講座メニュー							
通し番号は、生涯学習課が発行している「生涯学習出前講座（令和元年度版）」に合わせています							
番号	メニュー名	サブタイトル	内容	担当部署	担当者	都合の悪い曜日など	備考
113	市民病院は必要か？	緊迫した岸和田市の財政状況の中で、市民病院を維持する価値はどこにあるのか？	全国で公立病院の存在意義が問われています。市民病院が果たす役割についてお伝えし、ざっくばらんに意見交換したいと思います。	小切院長		水曜日	
114	胃のはなし		診断から治療など	消化器内科	医師	月・木	
115	医療被ばく低減施設	医療被ばく低減施設認定取得までの道のり	現代医療において放射線診療は欠かせないものとなっていますが、医療被ばくが問題だと考えます。そこで、公益社団法人日本放射線技師会が「安心できる放射線診療」を国民の皆様へ提供するための事業として、医療被ばく低減施設受診審査を通じて当院の被ばく管理のあり方を広く市民の方々へ知っていただきたい内容です。	中央放射線部	神田栄光 技師長		
116	集中治療室（ICU/CCU）で使用する医療機器の紹介	チューブがいっぱい大丈夫なの？	集中治療室（ICU/CCU）で入院になると、ベッドの周りにたくさんの医療機器や点滴などがあると怖くなり大丈夫か心配になると思います。医療機器1つ1つの役割を知ること、数ある心配の1つでも解消できればと思い説明します。	臨床工学部	北山伸一 技士長	月・金	
117	脳卒中や心臓病の予防	血管の老化を予防して健康寿命を延ばしましょう	血管障害と呼ばれている心臓病と脳卒中の死亡を併せると、年間33万人で我が国の死亡原因1位のがんと同等になります。生活習慣病を基盤とする動脈硬化が原因とされています。健康にイキイキと生活するためには、普段の健康管理が大切です。動脈硬化を予防して健康管理ができるよう一緒に考えてみたいと思います。	看護師	藤原 恵	第3金	
118	「人生会議」をしてみませんか	もしものときに備えて	もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療チームと繰り返し話し合いませんか	緩和ケア内科	川島正裕 部長		
特 129- 2	下肢静脈瘤のはなし	下肢のボコボコの血管、本当に手術が必要なの？	テレビ番組を見ていたら、静脈瘤は怖い病気だから手術が絶対に必要だと言っていた…。よく患者さんから聞くのですが本当でしょうか？正しい治療のお話をします。	心臓血管外科	尾上 雅彦 副院長	月・水・金の午後は可能。土は要相	10月～新規追加
特 129- 3	動脈硬化のはなし	若々しい血管を保つために	タバコが動脈硬化の原因だということを御存知ですか？動脈硬化は心筋梗塞などいろいろな病気の原因になります。ならないためにすべきこと、なったときにすべきことをお話します。	心臓血管外科	尾上 雅彦 副院長	月・水・金の午後は可能。土は要相	10月～新規追加